

山小屋泊バックカントリーツアー



ご要望にお応えして数シーズンぶりに復活！ 山小屋泊バックカントリー！
食事あり、寝具あり、温泉ありの至れり尽くせりな山小屋で過ごす極上の一夜。そして、裏磐梯にはないスケールのオープンバーンを仲間たちと一緒に楽しみましょう。
バックカントリーLevel1以上の方が対象、1day+α程度の装備でご参加いただけます。

「山小屋泊バックカントリー」のご案内

- (1) プログラムは基本的にスノーボーダー向けですが、**スキーマーもご参加いただけます**。ただし、装備表をご覧いただいた上でスキーの装備をご自身で判断できる方に限らせていただきます。
- (2) 定員は7名、最少催行人数は3名です。
- (3) 料金にはガイド代および傷害保険代が含まれます。現地での精算となりますので、できるだけ**釣銭がいないよう**にご用意ください。
- (4) **宿泊代（2食付き 6,630円）が別途必要**になります。当日のルートによってはリフト代が別途必要になる場合がございます。
- (5) **ヘルメット、ボードを装着できるザック^{※2}、スノーシュー^{※3}、伸縮式ストック、雪崩ビーコンは必携**です。レンタル（有料）をご希望の方は参加申し込みと同時に申し込みください。
※2 スプリットボードの場合はボードを装着できなくても可。ただし、スキーが装着できることが望ましい。
※3 スプリットボードの場合は不要。
- (6) **通常の1day ツアーとは持ち物が異なります**。装備表（3ページ）で必ずご確認上ご用意ください。必須装備（◎がついたもの）は個人が携帯する装備ですので、夫婦・カップル・友人同士で共同で持つということがないようお願いいたします。

安全管理上、装備が不足している場合は参加をお断りする場合がございますのでご注意ください。

※4 ※4 その場合、当日キャンセルとしてキャンセル料を頂戴いたします。

- (7) **ゾンデ**（プローブ）、**スコップ**（ショベル）をお持ちの方は必ずご持参ください。
- (8) 天気にもよりますが、昼食時間はゆっくり取りますので簡単な調理をしても結構です。ただし、調理せずに食べられるものも必ずご用意ください。
- (9) 電車・バス等、公共交通機関をご利用の方については、集合時間の1.5時間前に「もくもく自然塾ガイドセンター」にお越しいただければ集合場所まで無料送迎いたしますので、参加申し込みの際にお申し出ください。
- (10) 自家用車でお越しの方は、必ずスタッドレスタイヤやチェーンの装着をお願いいたします。
- (11) **ルート**は、基本的に開催日前1週間以内に担当ガイドが下見をし、当日までの天候、積雪等の気象条件から**当日決定**します。
- (12) **GPS およびその機能を有する機器によるログ録り行為は一切お断り**いたします。
ただし、2万5千分の1地形図とコンパスの持ち込みは歓迎いたします。
- (13) 流し撮り等、**ツアールートが特定できるような動画撮影は一切お断り**いたします。
- (14) **開催日以外の開催をご希望の方**はご相談ください。（平日のみ。3名から。）

山小屋泊バックカントリー

[対象] 下記の条件を満たす方。

- (1) 「バックカントリーLevel1」で1ルート以上経験している。
- (2) 担当ガイドから合格判定を受けた。

[開催日] 2018年3月10日（土）～11日（日）

[ルート] 安達太良エリア（滑走技術★★★ 登行技術★★★）

[体力度] ★★★☆（5時間程度の山歩きを余裕を持ってできる体力が必要です。）

[集合] 9:45 あだたら高原スキー場チケット売場周辺

※施設へのプログラムに関するお問い合わせはご遠慮ください。

[参加費] 14,000円（税込）/名

[行程] <1日目>

- 9:30～ 受付 ※出発できる準備をしてご集合ください。
- 9:45 ブリーフィング（行程の説明、装備チェック、準備運動など）
- 10:00 ツアースタート（ハイクアップ&ライディング）
- 15:00 くろがね小屋到着（泊）
- 17:30頃 夕食（当日の混み具合によって時間が異なります。）
- 21:00 消灯

<2日目>

- 6:30 頃 朝食（当日の混み具合によって時間が異なります。）
 8:00 ブリーフィング（行程の説明、装備チェック、準備運動など）
 8:15 ツアースタート（ハイクアップ&ライディング）
 11:00 解散

※参加人数や参加者のスキルによって時間が前後する場合がございます。

山小屋泊バックカントリー装備表

◎：必須 (◎)：ツアーによって、または対象者は必須 ○：あると安全・快適に過ごすための装備 △：あると便利

装備	チェック	備考
スノーボード	◎	使い慣れたもの。事前にネジの緩み等の入念なチェックを。スプリットボードの場合はシールも忘れずに。
スノーボードブーツ	◎	履き慣れたもの。
スノーシュー	◎	ハイクアップ時に使用。スノーボードブーツで装着可能なもの。 レンタル可能 (1,800 円/日)
伸縮式ストック	◎	ハイクアップ時や緩斜面で使用。 レンタル可能 (500 円/日)
ヘルメット	◎	頭部保護のため。 レンタル可能 (500 円/日)
ザック (20~30ℓ程度) ※	◎	スノーボードを装着でき、携行する装備が入る大きさのもの。 レンタル可能 (500 円/日)
アウター (上下)	◎	防水性、透湿性の高い素材のもの。
中間着	◎	フリースなど、軽量で保温性の高い素材のもの。
予備の防寒着	◎	薄手のダウンなど、軽量で保温性の高い素材のもの。
アンダーウェア (上下)	◎	保温性、速乾性の高い素材のもの。綿製品はNG。
グローブ	◎	保温性の高いもの。ライディング用の厚手のものとハイクアップ用の薄手のものを使い分けると便利。予備があってもよい。
ゴーグル	◎	ライディング時に使用。天候により視界確保への影響が少ないレンズのもの。予備があってもよい。
帽子	◎	耳たぶまでしっかり覆うタイプのもの。
靴下	◎	保温性の高い素材のもの。綿製品はNG。
サングラス	◎	雪目防止に。ハイクアップ時に使用。
ネックウォーマー	○	悪天候時に重宝。バラクラバ（目出し帽）なら尚よし。
雪崩ビーコン	◎	雪崩埋没時のレスキューに必要。 レンタル可能 (1,000 円/日)
ゾンデ (プローブ)	(◎)	雪崩埋没時のレスキューに必要。
携帯シャベル	(◎)	雪崩埋没時のレスキューに必要。
行動食	◎	チョコレートなど、歩きながらやちょっとした休憩で食べられるもの。多めに用意すれば万一の場合の非常食にもなる。
食事	◎	ごはんものは凍るので冬山には不向き。
テルモスまたは水筒	◎	行動中の水分補給に。暖かい飲み物があるとより快適。
ゴミ袋	◎	持ち込んだものはすべて持ち帰る。
調理道具	△	バーナー、コッヘル、燃料、食材、調味料等。山での食事は一手間かけるのもまた楽しい。
カイロ	○	食事中や緊急時の防寒対策として。
携帯座布団	○	お尻を冷やさないように。これ1枚で食事が快適に。
医薬品	○	各自で必要なものを用意。
ヘッドライト	◎	夜間の行動や、万一の場合の備え。予備電池も忘れずに。
ロールペーパー	◎	トイレ時や食器を拭く場合に使用。
携帯灰皿	(◎)	喫煙者は必須。灰もすべて持ち帰ること。
洗面用具	◎	タオル、歯ブラシなど。(ただし、石鹸や歯磨剤は使用できません)

<ご注意ください！>

- (1) 装備表の内容はあくまでガイドツアーの装備であり、個人で行く場合の装備としては不足しています。
- (2) スキーで参加される方は、装備表のスノーボードに関する部分を自分のスタイル（山スキー＋シール、テレマークスキー＋シール、アルペンスキー＋スノーシューなど）に合わせて置き換えてください。

お申し込み方法

1. まず、このプログラム詳細の内容をよくご確認ください。
 グループでお申し込みの場合は、代表者も含め**参加者全員が必ずご確認ください。**
2. 次に、参加希望日の**7日前まで**にお電話（0241-23-9018）にてお申し込みください。
3. 最後に、下記のいずれかの方法で**申込用紙および同意書**を入手し、**必要事項を記入後、FAX（024-505-4826）、Eメール添付、郵便の何れかの方法**でお送りください。
 - (a) ホームページから参加申込書および参加同意書をダウンロードする。
 - (b) 参加申込書および参加同意書を自宅に郵送してもらう。

※お電話にて申し込みいただく前に申込書や同意書だけをお送りいただいた場合は申し込みを受理できませんのでご注意ください。

※開催が決定していれば7日前を過ぎてのお申し込みもお受けできる場合がございますのでご相談ください。

キャンセルについて

お申し込みを取り消す場合は必ずお電話にてご連絡ください。

天災、事故（事故証明書をご提出いただきます。）、事件などを除く理由によりプログラムの参加を中止する場合には、下記のキャンセル料を頂戴いたします。

プログラム開始日の 7日前から2日前まで	料金の 30%
プログラム開始日の 前日および当日	料金の 50%
連絡なしの当日キャンセル	料金の 100%

当日遅刻等により参加できなかった場合や、病気やケガによりお申し込みを取り消す場合も上記キャンセル料の対象となりますので、集合場所・時間の事前確認および健康管理にご留意ください。



担当ガイド

渡邊 亮 (わたなべ りょう)

「ならぬことはならぬものです」を地で行く、会津が生んだサムライガイド。登山だけでなく、バックカントリー、キャニオニング、カヌーなどのガイドも務めるマルチプレイヤー。NHK「おいで、東北」男子としても注目を集める。

1974年福島県会津坂下町生まれ。裏磐梯在住。東北山岳ガイド協会所属。ガイド歴14年。

日本山岳ガイド協会認定登山/スキーガイド、日本スノーボード協会認定インストラクター、日本カヌー連盟公認指導員、レスキュー3TRR-T/SRT-I、野外災害救急法40時間修了ほか。



参加者限定 Facebook グループおよびメーリングリストのご案内

ツアー最新情報やツアー写真の入手、参加者同士の交流にご利用いただける Facebook グループ「もくもく山滑塾」およびメーリングリスト（以下、ML）をご用意しております。

どちらも当塾のバックカントリースノーボードプログラムに一度でも参加した方ならどなたでもご登録いただけます。（※身元不明の方の不正登録を防止するため、このような登録条件を設けさせていただいております。）

Facebook グループ登録を希望する方は、もくもく自然塾の Facebook ページで「いいね！」した後、ページ内にある Facebook グループ「もくもく山滑塾」に参加リクエストしてください。担当ガイドがリクエストを確認後、リクエスト承認いたします。

ML 登録を希望する方は、ツアーに参加後にメールアドレスをお知らせください。もくもく自然塾の Web サイト内ページ一番下「お問い合わせ」よりお名前とメールアドレスご連絡いただければ、確認でき次第 ML に登録させていただきます。

※使い勝手の都合上、いずれは ML を廃止し、Facebook グループへの完全移行を予定しております。

お申し込み・お問い合わせ先

裏磐梯 もくもく自然塾

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字小野川原 1092-38

TEL : 0241-23-9018 (9:00~20:00) FAX : 024-505-4826 (24 時間)

E-mail : info@moku2-outdoor.com URL : <http://moku2-outdoor.com/>

2018.2.9 「山小屋泊バックカントリー」初版。

※このプログラムの詳細は、予告なく内容が変更される場合がございます。